

区 分	<input type="checkbox"/> 計画書 <input type="checkbox"/> 変更計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 実施状況報告書								
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	熊本県天草市港町8番1号								
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	共栄建設 株式会社 代表取締役 池崎 敏郎								
事業概要	建設業 総合建設業								
該当する事業者要件	<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)		前年度の原油換算エネルギー使用量		kl				
	<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)		県内登録の自動車数		台				
	<input checked="" type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者								
計画期間	2023 年度 ~ 2025 年度								
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針	省エネルギー、省資源の推進に積極的に取組、環境負担の低減を図る								
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制	ISO14001によるマネジメント推進体制を構築している								
	環境マネジメントシステム名称	ISO14001	適用範囲	本社 上天草営業所	取得年月日	2011.6.24			
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容	【設備更新等】								
	【その他の措置】 空調設定温度(夏28度 冬20度)の設定 遮光設備の導入 エコドライブ推進 休憩時間の一斉消灯 両面複写や裏紙使用の徹底								
温室効果ガス算定排出量等	年度区分	排出の状況及び目標			排出量等の実績				
		基準年度 (2022)年度	前年度 ()年度	目標年度 (2025)年度	(2023)年度	(2024)年度	()年度	()年度	()年度
	①排出量	495		450	455	539			
	燃料及び熱	453			396	480			
	電気	42			59	59			
	削減率・増減率 (基準年度比)			△ 9.2 %	△ 8.1 %	8.8 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %
	②補完的手段による削減量	1,827		1,700	1,800	1,800			
	森林整備等								
	再生可能エネルギー	1,827		1,700	1,800	1,800			
	グリーン電力証書等								
その他知事が認めるもの									
①-② 差引後排出量	(1,332)		(1,250)	(1,345)	(1,261)				
削減率・増減率 (基準年度比)			△ 6.1 %	1.0 %	△ 5.3 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	
原単位算定排出量等	排出量								
	削減率・増減率 (基準年度比)			%	%	%	%	%	
	差引後排出量								
	削減率・増減率 (基準年度比)			%	%	%	%	%	
原単位の考え方									

各年度の措置の実施状況及び計画の進捗又は達成の状況等	1年目 (2023)年度	【設備更新等】 無し 【その他の措置】 無し 【計画の進捗状況等】 初年度は計画通り順調に排出を抑制出来た
	2年目 (2024)年度	【設備更新等】 無し 【その他の措置】 無し 【計画の進捗状況等】 2年目はA重油の消費が増加したが補完的手段により全体では抑制できた。
	3年目 ()年度	【設備更新等】 【その他の措置】 【計画の進捗状況等】
	4年目 ()年度	【設備更新等】 【その他の措置】 【計画の進捗状況等】
	5年目 ()年度	【設備更新等】 【その他の措置】 【計画の進捗状況等】
特記事項		

- 備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。
- 2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
- 3 「基準年度」とは、原則、熊本県地球温暖化の防止に関する条例に基づく地球温暖化対策推進計画の基準年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。「前年度」とは、計画期間の前年度とします。また、「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
- 4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とし、その単位はt-CO₂とします。
- 5 事業活動温暖化対策計画書を提出する場合は、「排出量等の実績」欄及び「各年度の措置の実施状況及び計画の進捗又は達成の状況等」欄は記入不要です。
- 6 原単位による目標を設定する場合は、「原単位算定排出量等」欄に記入してください。
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映され则认为される指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
- 7 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。